

理科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて

[思考力・判断力・表現力等]

- 課題解決のための観察・実験を計画・実施し、結果の整理・分析を通して、基本的な科学事象を理解する力を養う。
- 既習の科学事象の見方・考え方を活用し、新たな課題について取り組み、科学的な見方・考え方を深め養う。
- 自己の学習を振り返り、主体的に自己の学力を調整する力を養う。

	生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な改善策 （「主体的・対話的で深い学び」における）	手だての実施時期	年度末評価（2月）
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> • 根拠となる観察・実験結果を基に、自分の考えをまとめ、適切に表現し説明することが苦手である。そのため、課題に対し根拠や理由を付けた説明ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> • 学習課題についてわかりやすく提示し、主体的・継続的に取り組めるよう指導する。 • 事実を基に、自己の考えを他者と共有し、共通点・相違点から考えを深め、わかりやすく表現できるよう指導する。 	2・3学期	
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> • 活発に発言する生徒がいる半面、話し合いに参加せず、何もしない生徒もいる。 • 計算、科学的思考が苦手な生徒がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 前の時間に学んだことを復習する。 • 生徒同士で学び合う時間を作る。 • 1人1台端末で問題演習をする。 • CRTテストを行い、単元の復習をする。 	• 2・3学期	
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> • 計算や応用問題が苦手な生徒が多い。 • 学んだときは覚えているが、次の時間には忘れてしまう生徒もいる。 • 実験の考察が苦手な生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> • 前の時間に学んだことを復習する。 • 生徒同士で学び合う時間を作る。 • 1人1台端末で問題演習をする。 	• 1・2・3学期	

■ICTを活用した授業における改善策

- 1年：事象の変化をとらえたり、表現したりするツールとして、静止画・動画、提示ソフトを使用する。
- 2年：自動採点の問題演習を行う。満点が取れるまで何度も挑戦させる。
- 3年：自動採点の問題演習を行う。満点が取れるまで何度も挑戦させる。